

Loudspeaker Resistance Checker

SRC-01

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

機器を正しく安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。
お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。

「警告」「注意」表示の意味

誤った取り扱いをすると生じることが想定される、危害や損害の程度と内容を明示するために、「警告」と「注意」に区分して記載しています。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

記号表示の意味

取扱説明書および製品に表示されている記号には、次のような意味があります。



「ご注意ください」という注意喚起を示しています。



～しないでくださいという「禁止」を示しています。



「必ず実行」してくださいという強制を示しています。



警告



機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。
異常を感じた場合などの点検や修理は、必ずお買い上げ店または巻末の弊社窓口にご依頼ください。



機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。
感電や火災、故障の原因になります。



濡れた手で本機を使用しない。
感電のおそれがあります。



内部に水や異物を入れない。
水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池や接続コードを抜いて必ずお買い上げ店または巻末の弊社窓口にご相談ください。



高所で使用する場合は、落下防止対策を行う。
機器が落下して、けがをしたり、故障する原因になります。



機器を落とすなどして破損した場合、または使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源を切り、電池を外す。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。
至急、お買い上げ店または巻末の弊社窓口にご依頼ください。



注意



機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。
コードをいためたり、転倒してけがをする原因になります。



不安定な場所に置かない。
機器が転倒、落下してけがをしたり、故障する原因になります。



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



スピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。
それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。



他の機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。
また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量（ボリューム）を最小にする。
感電、聴力障害または機器が損傷することがあります。



機器の通風孔やパネルのすき間などに手や指を入れない。
けがをする原因になります。



大きな音量で長時間スピーカーを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



製品の上に乗らない、重い物を乗せない。
機器が破損したり、けがをする原因になります。



ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
機器が破損する原因になります。



長時間使用しないときは、電池を外す。
電池の液漏れの原因になります。

機能の概要

本機は、SR・設備などで使用されるスピーカーの検査を行なうことを目的とした、スピーカー専用のチェッカーです。

DCR（直流抵抗）測定によるスピーカー検査
スピーカーの直流抵抗を測定することにより、ボイス・コイル断線など、不具合の有無を検査することができます。

ピンク・ノイズによるスピーカー検査
ピンク・ノイズ・ジェネレータとパワーアンプ（約 1W/8Ω）を内蔵しており、本機のみで聴感によるスピーカーの検査を行うことができます。

各種コネクターに対応

使用頻度の高いXLRタイプ、スピコンNL4およびNL8の3種類のコネクターを装備。
変換コネクタ無しで検査を行うことができます。

パワーアンプ内蔵スピーカーの検査用にライン出力を装備

XLRタイプ・コネクターは、スイッチの切替によりライン出力（バランス・タイプ）として使用できます。

LEDライト装備

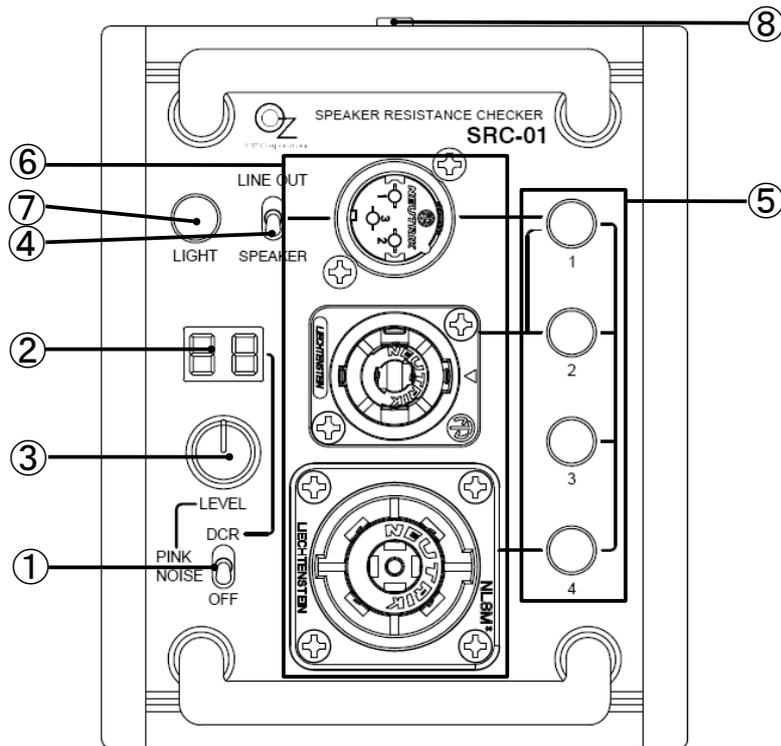
暗がりでの作業に便利なLEDライトを装備。

電池駆動

単三アルカリ電池 4本で動作します。
検査を行っていないときは自動的に電源オフになりますので、電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぎます。

■この取扱説明書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

各部の名称と働き



① 動作モード・スイッチ

動作モードを選択します。

“DCR”（DCR 測定モード）
DCR（直流抵抗）の測定を行います。

“PINK NOISE”（ピンク・ノイズ・モード）
ピンク・ノイズを出力します。

“OFF”（電源オフ）
電源をオフにします。
このとき、スピーカー選択ボタン、LIGHT
ボタンを押しても動作しません。

② DCR 表示

DCR 測定モードのとき、直流抵抗が0~50Ω
の間は1Ωステップで表示、50Ωより大きい
ときは“--”と表示します。
ピンク・ノイズ・モードのときは、スピーカー
選択ボタンが押されている間、点灯します。
表示が点滅したときは、電池の残量が少なく
なっていますので、電池を交換してください。

③ LEVEL つまみ

ピンク・ノイズの出力レベルを調整します。

④ XLR 出力信号選択スイッチ

XLRタイプ・コネクタに通常のスピーカー
を接続するときは“SPEAKER”、パワーアン
プ内蔵スピーカーの入力端子に接続するときは
“LINE OUT”に設定します。
“LINE OUT”に設定したとき、XLRタイ
プ・コネクタに接続したスピーカーの
DCRを測定することはできません。

⑤ スピーカー選択ボタン

検査を行うスピーカーを、下表のように選択す
るモーメンタリ・タイプのボタンです。
ボタンを押している間、電源が入り動作モー
ド・スイッチで選択された検査を行います。

	XLRタイプ		NL4	NL8
	LINE OUT	SPEAKER		
1	2・3ピン	2・3ピン	1+・1-ピン	1+・1-ピン
2	2・3ピン	—	2+・2-ピン	2+・2-ピン
3	2・3ピン	—	—	3+・3-ピン
4	2・3ピン	—	—	4+・4-ピン

⑥ スピーカー端子

検査するスピーカーを接続します。
出力形式はBTL出力（バランス）です。

XLRタイプ・コネクタ

1ピン：GND 2ピン：+（HOT）
3ピン：-（COLD）

スピコンNL4

1+ピン, 2+ピン：+
1-ピン, 2-ピン：-

スピコンNL8

1+ピン, 2+ピン, 3+ピン, 4+ピン：+
1-ピン, 2-ピン, 3-ピン, 4-ピン：-

⑦ LIGHT ボタン

⑧ LED ライト

LIGHT ボタン（モーメンタリ・タイプ）を押
している間、LEDライトが点灯します。

操作方法

DCR 測定による検査

DCR（直流抵抗）測定により、ボイス・コイルの断線やレア・ショート、スピーカー・ケーブルの断線やショートなどを検査できます。

- ① スピーカー端子へスピーカーを接続します。
- ② XLRタイプ・コネクタへスピーカーを接続したときは、XLR出力信号選択スイッチを“SPEAKER”に設定します。
- ③ 動作モード・スイッチを“DCR”に設定します。
- ④ 検査するピン番号のスピーカー選択ボタンを押します。
ボタンを押している間、DCRが1Ωステップで表示されます。
DCRが50Ωより大きいとき、“--”と表示されます。

※一般的なスピーカーのDCRは、定格インピーダンスの約60～70%程度の値になります。

ご注意

スピーカー選択ボタンを複数同時に押さないください。

ピンク・ノイズによる検査

スピーカーからピンク・ノイズを出力して聴感による検査を行うことができます。

- ① LEVELつまみを左に回し切ります。
- ② スピーカー端子へスピーカーを接続します。
- ③ XLRタイプ・コネクタへスピーカーを接続したときは、XLR出力信号選択スイッチを“SPEAKER”に設定します。
- ④ 動作モード・スイッチを“PINK NOISE”に設定します。
- ⑤ 検査するピン番号のスピーカー選択ボタンを押します。
ボタンを押している間、ピンク・ノイズが出力されますので、LEVELつまみで適正な音量に調整します。
最大出力は約1W（8Ω負荷）です。

ご注意

- ・故障の原因となりますので、2Ω以上のインピーダンスでお使いください。
- ・電池の消耗状況、スピーカーのインピーダンス特性の状況により、LEVELつまみを最大にすると音がひずむときがあります。
ピンク・ノイズがひずんで聞こえるときは、出力レベルを下げてご使用ください。
- ・スピーカー以外の機器を接続しないでください。

パワー・アンプ内蔵スピーカーの検査

パワー・アンプ内蔵スピーカーについても、ピンク・ノイズによる聴感検査を行うことができます。

- ① LEVELつまみを左に回し切ります。
- ② XLRタイプ・コネクタへ、パワー・アンプ内蔵スピーカーの入力端子を接続します。
- ③ XLR出力信号選択スイッチを“LINE OUT”に設定します。
- ④ 動作モード・スイッチを“PINK NOISE”に設定します。
- ⑤ スピーカー選択ボタン“1”を押します。
ボタンを押している間、ピンク・ノイズが出力されますので、LEVELつまみで適正な音量に調整します。
最大出力レベルは約+4dBuです。
($0\text{dBu} = 0.775\text{Vrms}$)

※“LINE OUT”で使用するときには、“1”以外のボタンを押しても動作します。

電池の残量表示について

スピーカー選択ボタンを押している間にDCR表示が点滅したときは、電池の残量が少なくなっていますので、新しい電池と交換してください。

電池の交換について

裏面のバッテリー・カバーを外し、バッテリー・ケースの表示通り正しく入れてください。
電池は、単三アルカリ電池を使用してください。

電源のオン・オフについて

本機は、スピーカー選択ボタンおよびLIGHTボタンが押されていないとき、自動的に電源がオフになりますが、ケースに収納したときなど誤ってボタンが押されてしまうこともあります。
ご使用されないときには必ず動作モード・スイッチを“OFF”にしてください。

主な仕様

スピーカー端子

端子形状	XLRタイプ スピコン NL4 スピコン NL8
適合負荷インピーダンス 最大出力	2~32Ω 約1W 8Ω時

LINE OUT 出力

端子形状	XLRタイプ
出力インピーダンス	200Ω
最大出力	約+4dBu (OdBu = 0.775Vrms)

DCR 測定

測定範囲	0~50Ω
表示分解能	1Ω
確度	± (5% +1digits)
	条件：23±5℃ 80%RH以下 結露のないこと

その他

電源	単三アルカリ電池 4本
外形寸法	106 x 46 x 133mm (幅/高さ/奥行) 突起部含まず
質量	約520g
付属品	取扱説明書 (1)

※仕様および外観は、改良のため、予告無く変更することがあります。

アフターサービスについて

保証書

この取扱説明書には保証書が記載されています。所定事項の記入および「保障規定」の項目をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証書に販売年月日等の記入がない場合は無効となります。

記入できないときは、お買い上げ年月日を証明できる領収書等と一緒に保管してください。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わず巻末の弊社窓口へご連絡ください。

調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをお確かめください。

それでも改善されないときには、お買い上げ店、または弊社窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは「保証規定」の項目をご覧ください。

保証期間経過後につきましては、修理によって機能が維持できるときは、ご要望により有料修理をいたします。

製品の運送にかかる往復の費用は、無償修理の場合は弊社負担、有償修理の場合はお客様負担とさせていただきます。

尚、弊社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても、修理した日より3ヶ月以内に限り無償修理いたします。

損害に対する責任

この商品（搭載プログラムを含む）の使用または使用不能により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益）については、弊社は一切その責任を負わないものとします。

また、如何なる場合でも、弊社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

